

令和4年度行政評価 施策評価シート (令和3年度実績)
施策名 就労支援の推進

		施策コード	5010401
1. 施策の担当			
主管課	生活産業部 まちの活性課		
関係課			

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第1章 地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり（活力・賑わい）	第4節 雇用・労働
	施策	就労支援の推進	

基本方針	
・関係機関と連携し、利用者のニーズに合った就労支援メニューの充実をはじめ、合同就職面接会の実施など就職困難者への就労支援に努めます。 ・雇用機会の均等を図るための啓発活動を推進するとともに、職業体験などを通じた職業観の醸成及び人材育成への取り組みを図ります。	

現況と課題	
・就労相談窓口を複数開設することで、身近な就労相談につなげています。 ・無料職業紹介所を開設し、ハローワークと同様の就職紹介や斡旋を実施しています。 ・就職困難者に対して資格取得の支援を行うことで、就労能力の向上などを行っています。 ・農業分野における就労体験を通じて、若年者に働く誇りや意欲を持たせることにより人材育成を図っています。 ・府やハローワークをはじめ関係機関と連携し、雇用促進の取り組みを実施しています。 ・就労支援メニューの充実を図っていますが、相談件数が伸び悩んでいます。 ・出入国管理及び難民認定法の一部が改正されたことにより、外国人の就労希望者の増加が今後予想されます。	

施策目標	
対象（誰を、何を、どこを）	

就職困難者、就労希望者等	
--------------	--

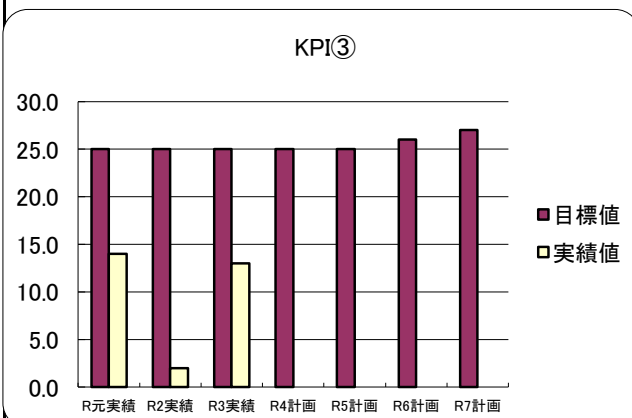
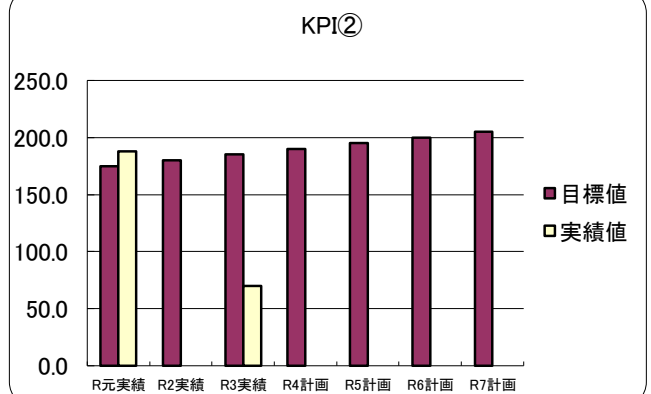
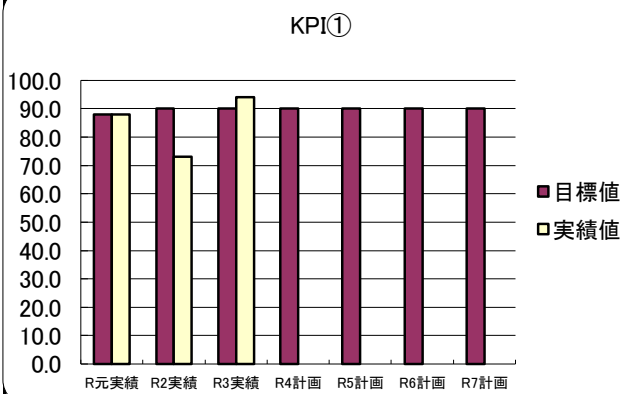
意図（どのような状態にしたいのか）	
就職困難者、就労希望者等への相談・支援等を行い、労働力の底上げ、雇用・就労を促進する。	

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度（偏差値）	35.1						
重要度（偏差値）	54.2						

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	単位	R2決算	R3決算				
	事業費	千円	8,101	10,415				
	フルコスト		66,701	53,997				
財源内訳	国庫支出金	千円	74,802	64,412				
	府支出金		28,088	34,408				
	市債		0	0				
	その他		0	0				
	一般財源（＝フルコスト－特定財源）		22,094	0				
	一般財源（＝直接事業費－特定財源）		24,620	30,004				
			16,519	19,589				

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1		就職困難者などの就労相談件数（延べ数）					
項目	R元実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5計画	R6計画	R7計画
目標値	88.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値	88.0	73.0	94.0				
達成度	100.0	81.11	104.44				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
就労支援対象者に対するアプローチ部分である相談件数を把握することにより、就労支援にかかる取組みの方向性を判断する基準となり得るため、成果指標の一つとします。		就労相談は、経済情勢により増減し、令和元年度は、有効求人倍率が1948年以降過去最高水準であり、相談件数が少なかった。しかしながら、どのような情勢においても、雇用に結びつける入口として広く門戸を開いておく必要があるため、令和元年度の水準を維持することとする。		前年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、就労相談を含む就労支援フェアが実施できなかったが、今年度は感染対策を行いながら実施できた。			
② KPI 2		就労支援フェア参加者数					
項目	R元実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5計画	R6計画	R7計画
目標値	175.0	180.0	185.0	190.0	195.0	200.0	205.0
実績値	188.0	0.0	70.0				
達成度	107.43		37.84				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
就労支援対象者に対するアプローチ部分となるため。		雇用は、経済情勢により影響を受けるが、努力目標として一定の伸びを見込むもの。		前年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、就労相談を含む就労支援フェアが実施できなかったが、今年度は感染対策を行いながら実施できた。			
③ KPI 3		就労相談を受けた就労希望者及び市実施就労支援事業参加者のうち就労に結びついた就労者数					
項目	R元実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5計画	R6計画	R7計画
目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	26.0	27.0
実績値	14.0	2.0	13.0				
達成度	56.0	8.0	52.0				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
就労支援事業の最終目標は、就職困難者、就労希望者等を就労に結びつけることであることから、当該成果指標とした。		経済情勢の影響が大きいため、一定数確保することを目標とする。		就職氷河期世代就労支援事業として、就職困難者への就労支援事業を行った。			

図表



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 1	コロナ前までには至っていないが、就労支援フェアへの参加者から就労に繋がっている。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 1	ハローワークの存在が大きいが、就職が困難な方からの相談は多く、ニーズは存在する。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う雇用情勢の悪化及び働き方改革や外国人受入環境が変化するなか、時代に応じた就労支援が求められる。
	合計点	(10点中) 5点	
	総合評価	C	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う雇用情勢の悪化及び働き方改革や外国人受入環境が変化するなか、時代に応じた就労支援が必要であり、プラットフォーム型支援の構築が必要。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		C	引き続き、就職困難者等の就労支援に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		C	引き続き、就職困難者等の就労支援に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R3年度決算額			R4年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01032100	地域就労支援事業	1,555	3	3	0	B
2	01083401	外国人労働者受入環境整備事業	8,083	24,282	12,158	0	B
3	01083457	地域課題解決型就職氷河期世代就労支援事業	777	29,712	7,428	0	B
合計			10,415	53,997	19,589	0	